

報道資料

《問い合わせ先》

【工事担当】

まちづくり推進局営繕プロジェクト推進室

室長 前田、室長補佐 堂崎（内線4434）

TEL 0742-27-8063

【事業全般】

地域振興部なら歴史芸術文化村整備推進室

室長 三原、主幹 森口（内線2510）

TEL 0742-27-8073

なら歴史芸術文化村の工事状況について （建物地下構造物の変動事案）

令和元年11月19日に発表した「なら歴史芸術文化村における工事中建物の地下構造物の変動」について、その後の変動の状況、原因の把握および再発防止策等の検証を経て、工事を再開することとしました。

具体的な内容と今後の予定は以下のとおりです。

1. 事案発生後の変動の状況

埋め戻し土の掘削等に伴う排水作業に伴い、上昇した地下構造物が下降して変動の無い安定した状態となっており、現状として変動事象が収束したことを確認しています。

2. 原因の把握

調査状況（構造物や水位の動き）から、遮水壁内の埋戻土中の雨水等による下からの「浮力」と、工事中構造物の「重力」との均衡が崩れたことが原因と判断しました。

3. 再発防止策等の検証

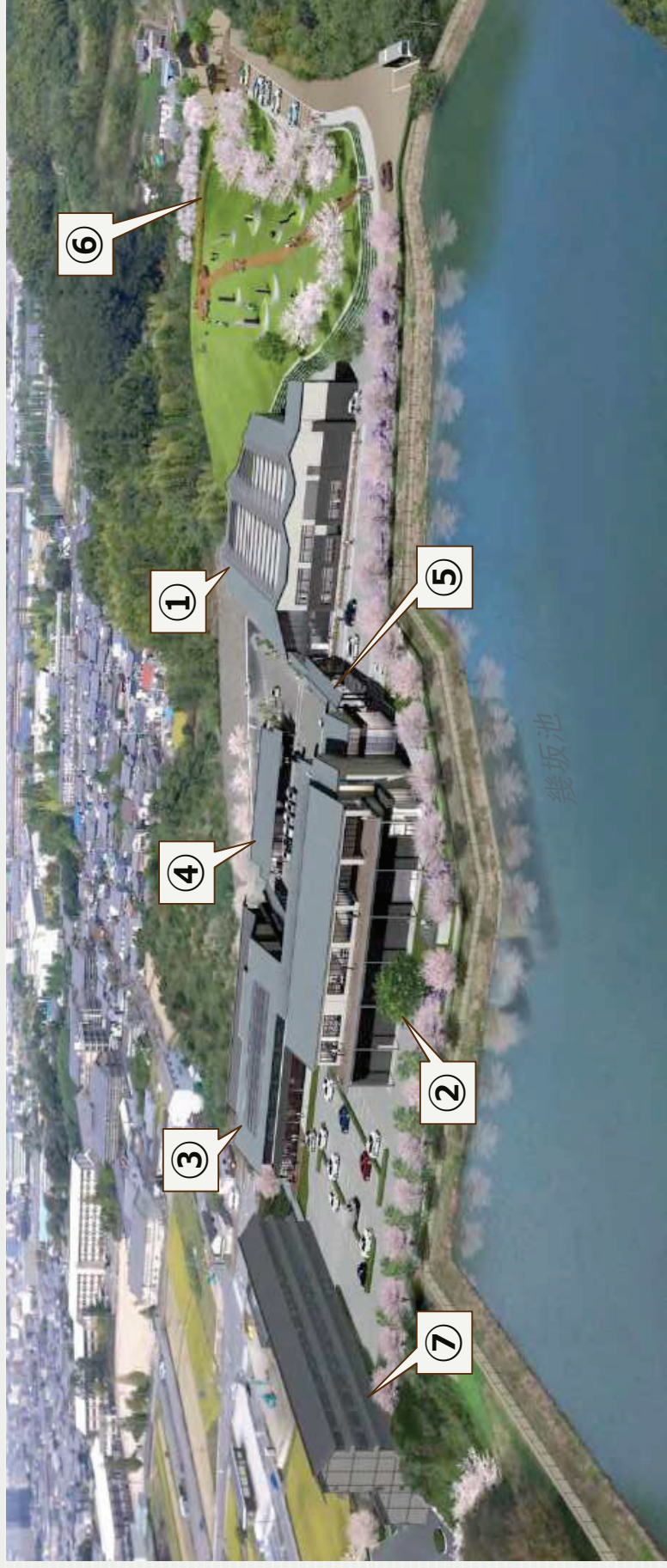
事象発生後進めてきた、①構造物の健全性、②支持地盤の健全性、③再発防止対応策の妥当性等についての検証作業が完了し、工事を再開して支障ないと判断しました。

4. 今後の対応

再発防止対応策の完了が確認でき次第、工事を再開いたします。
また、建設工事の契約工期を5ヶ月延長し、令和2年10月末の工事完了を予定しています。

※ 建設工事中の現場であることから現地取材はご遠慮願います。

●全体配置



- ①文化財修復・展示施設棟
- ②複合棟
- ③農村交流施設・伝統工芸施設棟
- ④情報提供施設・トイレ棟
- ⑤回廊
- ⑥屋外体験施設・展望台etc. (別途工事)
- ⑦宿泊施設(民設民営)

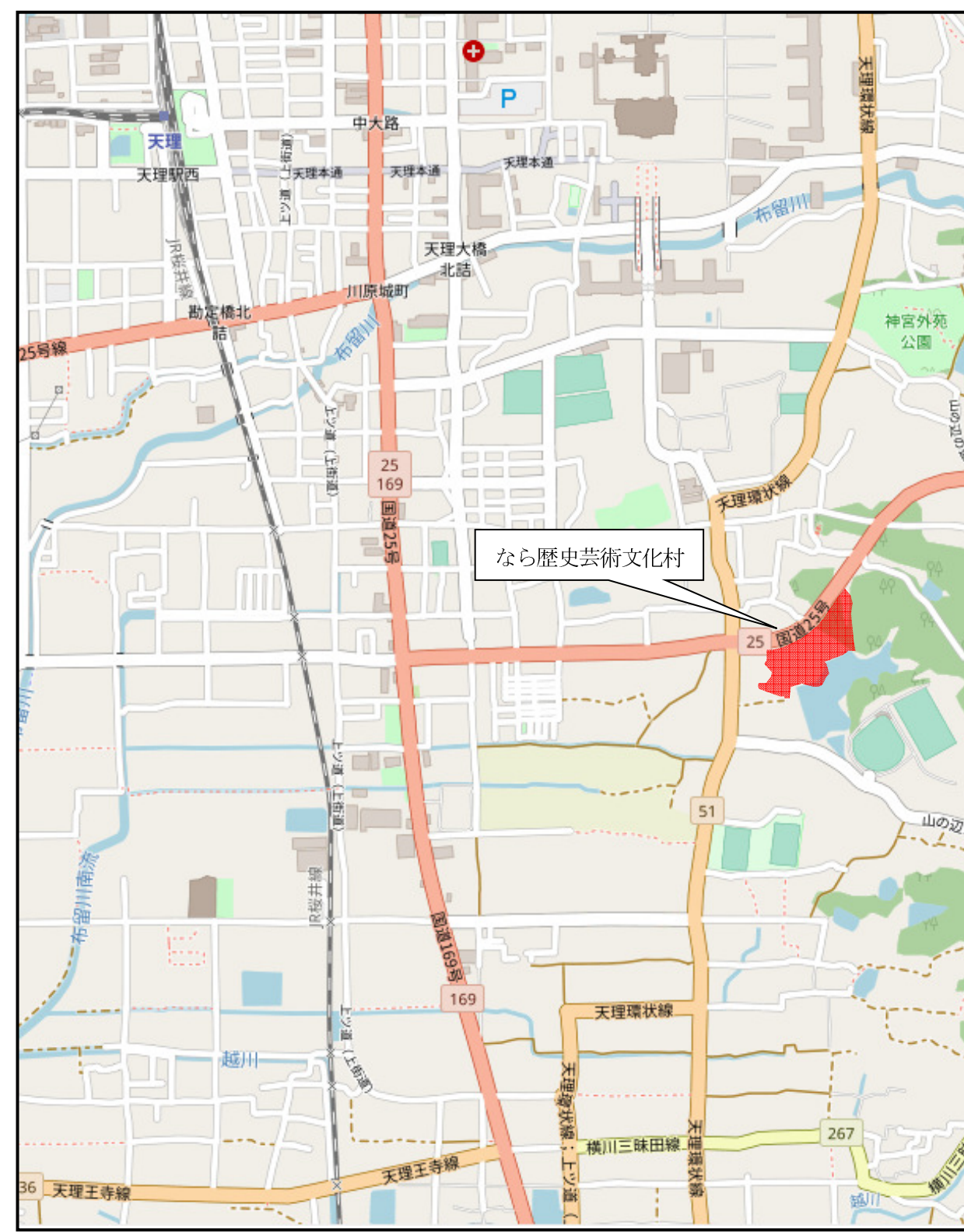
※パース建物はイメージ

なら歴史芸術文化村における建設工事の概要

・構造、規模

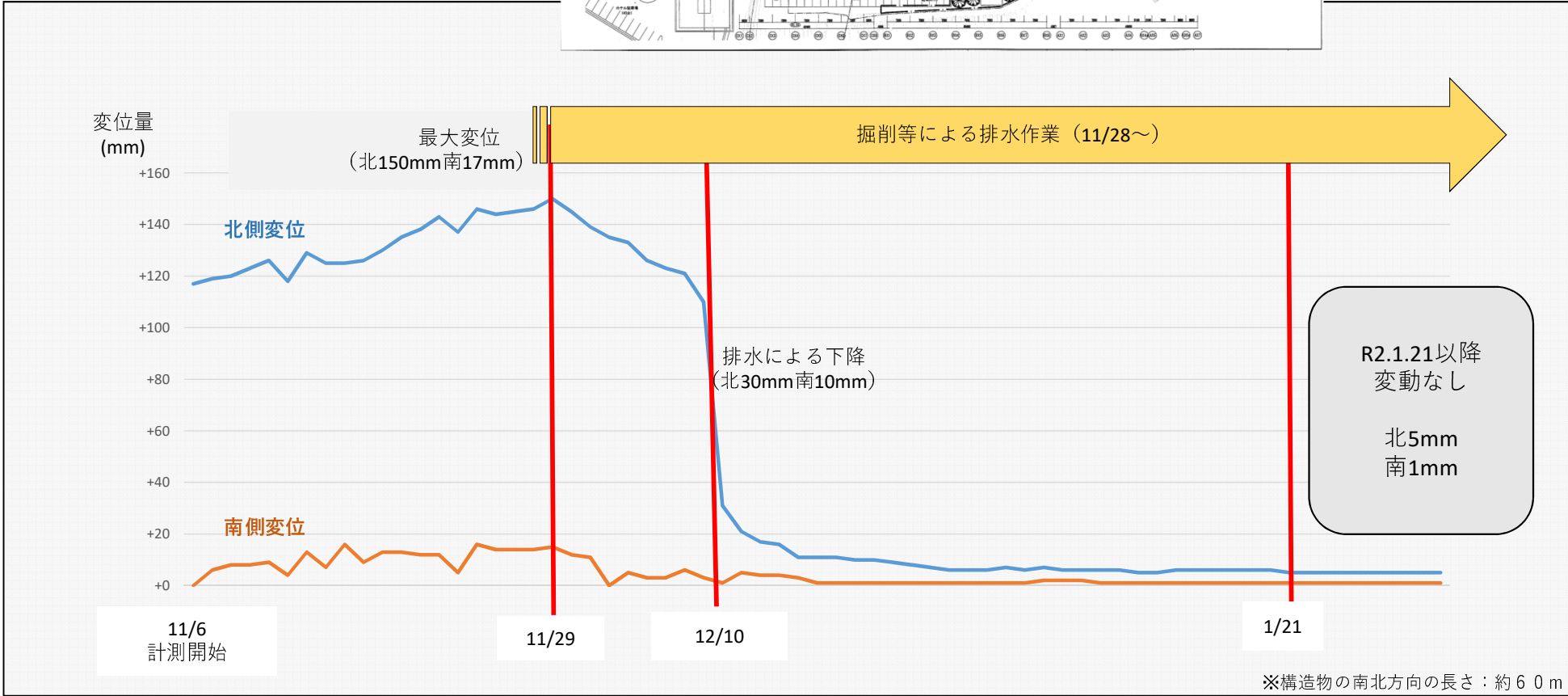
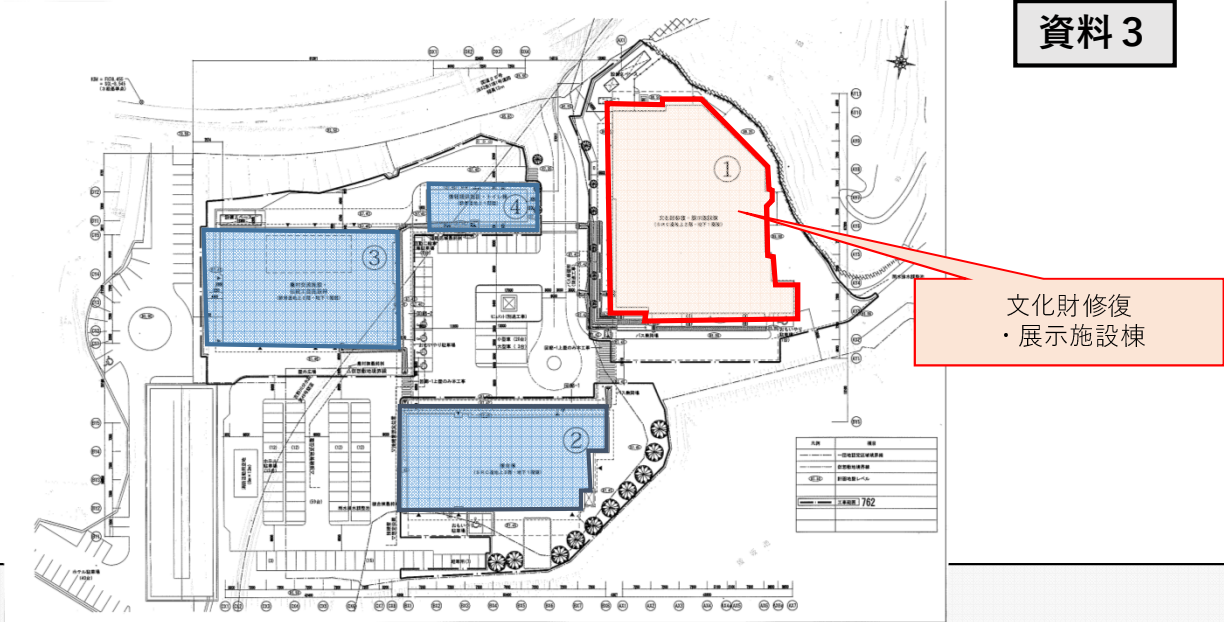
	構造	規模
文化財修復・展示施設棟	鉄骨鉄筋コンクリート造	地上2階・地下1階 延床面積 4998.84㎡
複合棟	鉄骨鉄筋コンクリート造	地上3階・地下1階 延床面積 3476.28㎡
農村交流施設・伝統工芸施設棟	鉄骨造	地上2階・地下1階 延床面積 2013.15㎡
情報提供施設・トイレ棟	鉄骨造	地上1階 延床面積 299.54㎡

設計	(株)大建設計	履行期間 平成29年6月28日～30年5月31日 契約額 203,439,600円
工事施工		工期(建築、電気、機械、昇降機) 平成30年7月3日～令和2年5月29日 工事総額 7,552,490,760円
建築、電気、機械、昇降機の 分離発注工事		
建築	大日本土木・森下組・八房建設JV	契約額(当初) 5,474,153,880円 契約額(変更) 5,476,950,000円
電気	きんでん・松田電気工業・藤原電気工業JV	契約額(当初) 725,500,800円 契約額(変更) 727,969,680円
機械	ダイダン・森村設備JV	契約額(当初) 1,172,105,640円 契約額(変更) 1,184,002,920円
昇降機 ①	日本オーチス・エレベータ(株)西日本支社	契約額 67,865,040円
昇降機 ②	ダイコー(株)大阪支店	契約額 52,594,920円
昇降機 ③	ダイコー(株)大阪支店	契約額 43,108,200円
監理	(株)大建設計	契約額 78,764,400円 履行期間 平成30年7月3日～令和2年5月29日



変動の経過について

資料 3



※構造物の南北方向の長さ：約60m